



新時代へ躍り出そう

Sustainable AI Land  
TOKUSHIMA

---

徳島バッテリーバレイ構想  
関連施策の進捗状況及び戦略推進の方向性について

---

令和6年10月7日

経済産業部 企業支援課

# 目次

---

## 1. 第1回推進会議以降の状況

---

## 2. 今後の進め方

---

## 3. 主な論点

---

Chapter

01

# 第1回推進会議以降の状況



## 推進会議及び意見照会における主な意見

第1回推進会議及び意見照会では、製造のグリーン化に向けた取組や企業間のマッチング支援等の意見を頂戴。今回、本構想内容やこれまでの意見を踏まえ、新たにロードマップ及びアクションプランの骨子案を作成。

### 第1回推進会議 (7/26)

意見のポイント



#### 脱炭素を中心に置いた施策、人材育成の対象拡大

##### 意見概要

- クリーンエネルギーを優先的に供給する政策
- 新たな事業用地の確保
- 「競争力・経済安全保障・グリーン」の3つの観点のバランスが重要。KPIによる目標の数値化
- 企業の工場進出のポイントを踏まえた施策展開
- 中学生等の若い世代に対する興味喚起の取組
- 大学での蓄電池教育の拡充に向けた検討
- 投資家を広報活動の新たなターゲットに
- CO2排出量算定や規制クリアに向けた支援

### 意見照会 (7/30~8/23)

意見のポイント



#### BCP対応、企業間マッチング、連携施策の推進

##### 意見概要

- 災害時の電源喪失への備えとしての蓄電池の社会実装
- マイクログリッドに対応する蓄電池を普及させる先行地区の設置
- 国産、県産の電池を推奨する取組の推進
- 蓄電池メーカー等のお困りごとの情報共有
- 職業訓練校での蓄電池教育による人材育成の実施
- 電池関係の学会への参加（電池討論会）
- 本構想メンバーでの次世代電池の研究開発
- 経験者、アドバイザーによる支援  
(海外、自動車メーカー対応の法令や規格に対する助言)

## 今年度の取組の進捗状況 ①



関西蓄電池人材育成等コンソーシアムとの連携により、県内高校が **実習** を実施。  
また、県独自の取組として、県内 **蓄電池関連企業の協力** の下、 **工場見学の実施** を進めていく予定。

## 蓄電池人材の育成

## バッテリー教育プログラム

- 県内2校で、バッテリー教育プログラム「**小型電池製造実習**」を産総研関西センター(大阪府池田市)で実施。
- 富岡西高校 **理科**1年生(30名)、阿南光高校 **電気情報システム科**1年生(23名)が参加。
- 徳島科学技術高校、協町高校、つるぎ高校は、10月以降に座学を実施予定。

## 工場見学

- 教育プログラム実施校**を対象に、県内蓄電池工場の見学を実施。(今後希望調査の上、順次実施予定)
- 蓄電池製造の職場を体感することで、**モノづくりへの興味**や**自らが働く姿のイメージ**を抱いてもらう。(キャリア教育にも繋がる)

協力企業(工場)

3社

- 日亜化学工業株式会社
- パナソニック エナジー株式会社 徳島工場
- プライムプラネットエナジー&ソリューションズ株式会社 徳島工場

## 富岡西高校(8・26)と阿南光(9・19)が実施

第2弾

## 実習の様子

学生自らが手を動かして、小型のリチウムイオン電池を作成。混練、ケース封入、注液など、電池完成までの一連の製造工程を実習体験した。

座学



負極板作製



極板作製



電池組立



電解液注液



電池完成



## 今年度の取組の進捗状況 ②



市町村との連携強化、協働での事業推進に向けて、**県と市町村**の関係者での**勉強会**を開催。

県内企業の新規事業計画が新たに**国から認定**。国の経済安全保障への寄与と県内への蓄電池関連産業の集積を加速させる取組。

### 企業誘致及び県内蓄電池産業の発展

#### 企業誘致担当者勉強会

- 徳島バッテリーバレイ構想の「誘致促進」の取組として、市町村と連携した企業誘致活動を進めることを目的に開催。

#### 県内蓄電池関連企業の事業拡大

- 9月6日に、丸井産業株式会社の注液装置に係る工場新設の事業計画が、蓄電池の生産基盤強化に資するものとして、国から認定を受けた。
- 過去には、日亜化学工業株式会社の事業計画も認定。

#### 経済安保補助金 (経済産業省)

経済安全保障推進法に基づき、特定重要物資として指定した蓄電池に関して、蓄電池・部素材・蓄電池製造装置の生産基盤強化を図るため、令和5年度補正予算で2,658億円、令和6年度当初予算で2,300億円を計上。

- R5年度以降、計3回の認定が実施され、蓄電池 7件、部素材 16件、製造装置 4件の合計27件の設備投資・技術開発の計画が認定。
- 27件合計で、事業総額は1兆8,686億円、助成額は最大3,479億円

### 企業誘致担当者勉強会(県・市町村)

- 日時：令和6年9月12日(木) 13:30から15:30まで
- 参加者：徳島県・市町村企業誘致担当者他 計31名
- 内容：徳島バッテリーバレイ構想及び関連施策について蓄電池産業の最新動向について

株式会社産業タイムズ社 講師

- 「産業界」の「設備投資」を柱とした情報を提供する総合的メディア企業
- 国内唯一の電子デバイス業界専門紙「電子デバイス産業新聞」や蓄電池産業の最新動向「バッテリー産業 最前線 2024」などを発行
- 県委託事業「国内蓄電池産業サプライチェーン調査及び誘致セミナー運営業務」を受託



### 経済安保法に基づく認定供給確保計画

第3回

(以下、抜粋)

事業者名	品目	投資場所	生産能力※	事業総額 [億円]	最大助成額 [億円]	供給開始
1.パナソニック・スバル	車載用LIBセル		16GWh/年	4,630	1,564	28年8月
2.パナソニック・マツダ	車載用LIBセル		6.5GWh/年	833	283	25年7月
3.日産	新構造車載用蓄電池		5GWh/年	1,533	557	28年7月
4.トヨタ・PPES・PEVE	①次世代車載用角型電池 ②全固体電池材料		①9GWh/年 ②-	2,450	856	26年11月
5.日本触媒	電解質		21.4GWh/年分	375	125	28年7月
12.丸井産業	注液装置	徳島県	8GWh/年分	8	4	26年4月

Chapter

02

# 今後の進め方

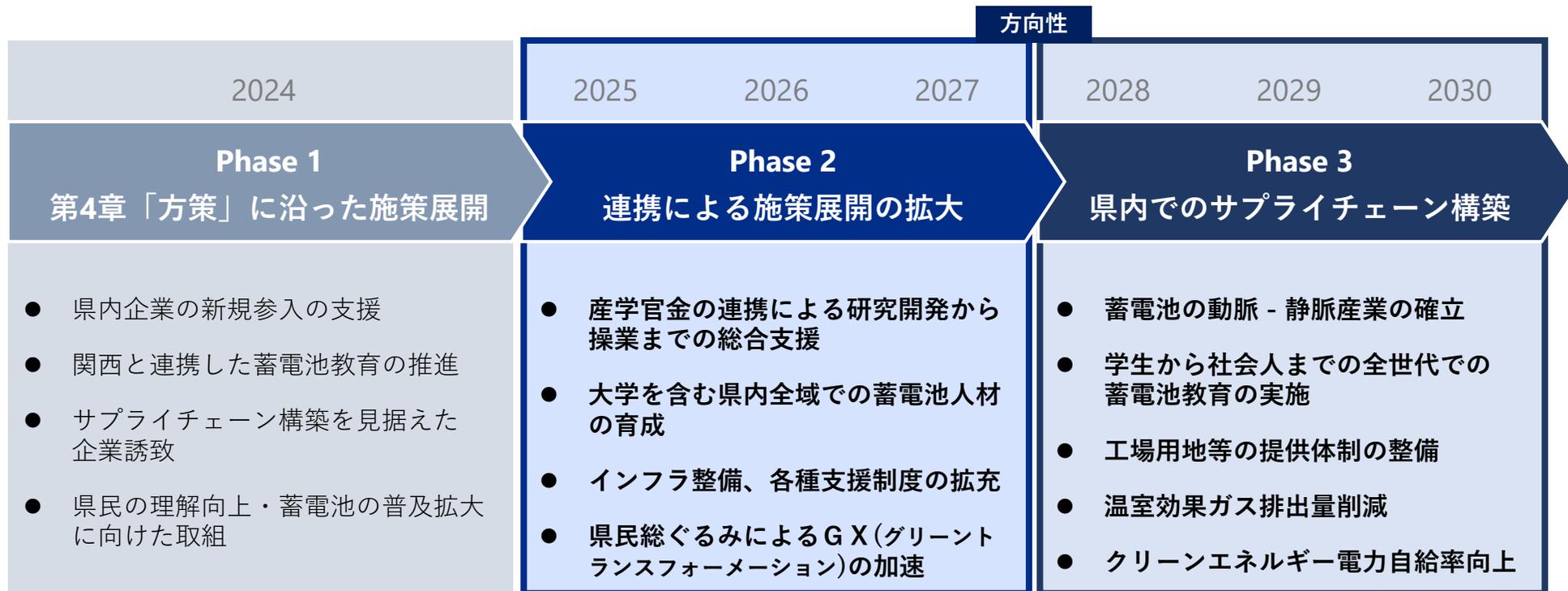
## 2. 今後の進め方（取組方針）

全体版

詳細版

前回までのご意見を踏まえ、本構想及び本県の「GX推進計画」の内容に基づき、施策の**方向性**を整理。

今後の推進に向けては、構想第3章 **整備すべき主な機能**に基づき**ロードマップとアクションプランの骨子案**を作成。



構想実現  
取組方針  
(案)

2024-2030(7ヶ年)の前半期では、中長期的な計画で実施する「企業誘致」「蓄電池人材の育成」を重点に、連携施策の拡大に取り組む。後半期には、サプライチェーンの構築を念頭に、施策の発展と進捗状況に応じたフォローアップを実施。  
施策検討にあたっては、構想の「整備すべき主な機能」を中心に置き、推進会議で議論。

# 徳島バッテリーバレイ構想・推進ロードマップ1(骨子)

全体版

詳細版

本構想第3章をロードマップ化。KPIは第4章「方策」の内容をベースに設定。施策具体化の基礎

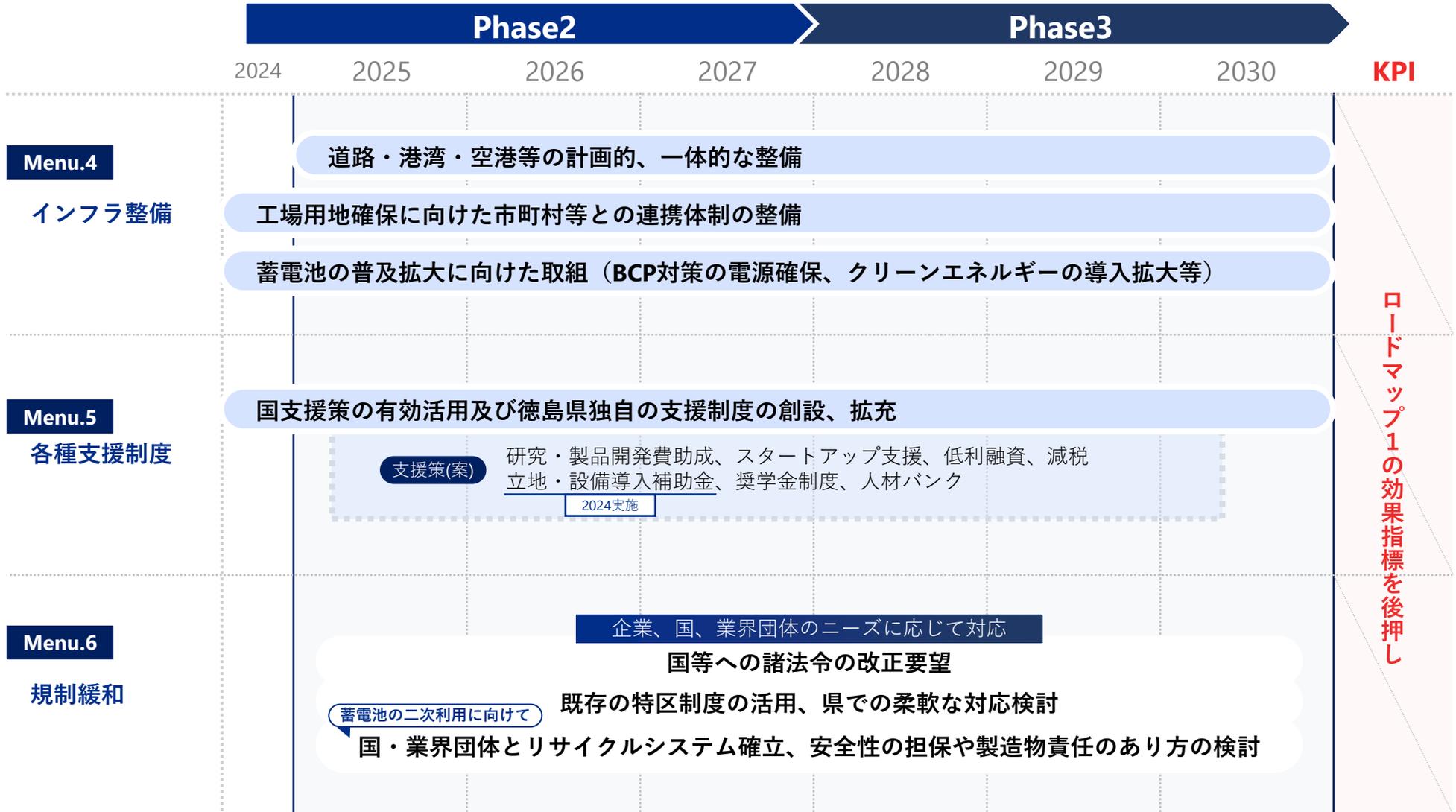


# 徳島バッテリーバレイ構想・推進ロードマップ2(骨子)

全体版

詳細版

意見を踏まえ、業界ニーズの変化に応じたアップグレードを図る。構想の一つに位置付けし、公表



# 徳島バッテリーバレイ構想・2025年度アクションプラン(骨子)

来年度施策の大枠。本日の意見や各機関との連携施策などを反映し、予算要求案を作成。

## 県・推進施策



### 企業誘致の加速



- 2024 – 2027年を企業誘致(営業)の重点期間に設定
- 国・市町村とも連携した積極的な誘致活動
- 産業用地整備に向けた取組を展開

### 蓄電池人材の育成・確保



- 「関西蓄電池人材育成等コンソーシアム」との連携を基軸にした教育プログラムの拡充
- 県立テクノスクールと連携したリスキリング等による人材の確保など、幅広い年代への展開

### 県内外での情報発信



- 推進会議参画機関との連携による経済界への浸透
- 映像を活用した広告展開など多様なツールを活用し、学生、若者をはじめとした幅広い層への情報発信を展開

### インフラ整備の促進



- 物流の効率化を図る高規格道路等の早期整備や新たなアクセスルートの検討
- 物流拠点を創出する徳島小松島港「赤石地区」等の港湾施設整備の推進

### クリーンエネルギーの最大限導入



- 自家消費型太陽光発電の導入を加速
- 防災対策、出力抑制に資するEV・蓄電池の普及拡大
- EV充電インフラの県下全域への整備拡大

<参考情報>

#### 推会議の進め方

#### 県事業スケジュール



<参考情報>

#### 徳島新未来創生総合計画の 関連KPI



※徳島新未来創生総合計画…県の計画の最上位に位置する、政策の基本的な方向をまとめた総合的な計画。毎年度の予算編成や事業の立案などの基本となるもの。

Chapter

03

## 主な論点

### 3. 主な論点

主には、本日提示のロードマップ及びアクションプランの修正や追記に関してご意見をいただきたい。また、今後の各機関との施策連携含め、意見交換をお願いしたい。

今後、第3回推進会議までの意見交換・照会(下段スケジュール案)を踏まえ、2025年以降の施策の具体化を行いたい。

#### 論 点

<p>ポイント1 今後の取組方針 (ロードマップ)</p>	<p><b>構想期間の前期-中期-後期の各段階で取り組むべきもの、目指すべきものは何か。</b></p> <p>視点) 「前半期で優先的に実施すべき取組」 「産業界が求めるもの」 「将来的な目標」</p>
<p>ポイント2 県施策 (アクションプラン)</p>	<p><b>次年度の県事業として実施すべき施策は何か。</b></p> <p>視点) 「ターゲット (ex.県内・県外事業者向け、小中学生向け、インフラ等)」 「実施施策 (ex.イベント、セミナー、補助金、・・・)」</p>
<p>ポイント3 連携した取組</p>	<p><b>行政、産業界、高等教育機関、金融機関で連携が可能な取組は何か。</b></p> <p>視点) 「行政を中心とした連携施策」 「産業界との連携施策」 「各界の既存事業を連携事業として発展が可能な取組」</p>

#### 今後のスケジュール案 (ロードマップ及びアクションプラン)

<p>令和6年 <b>10月7日</b> (月)</p>	<p>徳島バッテリーバレイ構想推進会議 (第2回) ロードマップ、アクションプランの骨子案の提示</p>	<p>▶ <b>意見反映し、3カ月間に県各課・関係団体等との内容調整を実施</b></p>
<p>令和7年 <b>1月上旬</b></p>	<p>意見照会 ロードマップ素案、アクションプラン案の送付</p>	<p>▶ <b>ロードマップ：1月末までの意見照会を実施</b></p> <p>▶ <b>アクションプラン：事業詳細の検討→2月議会へ事業予算の提出</b></p>
<p>令和7年 <b>3月中旬</b></p>	<p>徳島バッテリーバレイ構想推進会議 (第3回) ロードマップ案の提示、R7事業計画の説明</p>	<p>▶ <b>ロードマップの完成及び2025年度事業の推進</b></p> <p>▶ 構想に位置付け→公表</p>

